

第80回九都県市首脳会議（WEB会議）の開催及び 令和3年「九都県市のきらりと光る産業技術」表彰について

標記の件について、次のとおり実施しますので、お知らせいたします。

1 第80回九都県市首脳会議の開催（WEB会議）

(1) 日 時 令和3年10月25日（月） 13時30分から15時30分まで

(2) 主な議題

- 新型コロナウイルス感染症に関する意見交換等
- 各首脳からの提案等に係る意見交換
- 地方分権改革の推進に向けた取組の協議

(3) 開催方式 首脳会議は報道関係者へ公開します。

(4) 結果の公表

確定した要望文等を含む結果概要を九都県市首脳会議のホームページ

(<http://www.9tokenshi-syunoukaigi.jp/>)へ掲載いたします。

(令和3年10月下旬頃に掲載予定)

(5) 出席予定者

埼玉県知事	大野 元裕
千葉県知事	熊谷 俊人
東京都知事	小池 百合子
神奈川県知事	黒岩 祐治
横浜市長	山中 竹春
川崎市長	福田 紀彦
さいたま市長	清水 勇人
相模原市長	本村 賢太郎
千葉市長	神谷 俊一（九都県市首脳会議座長）

<ゲスト（一部出席予定）>

福島県知事 内堀 雅雄 氏

※九都県市では、東日本大震災による原子力災害の影響で特に支援が必要な、福島県の復興支援の取組を行っています。それに伴い、福島県知事から、会議冒頭にご発言いただく予定です。

2 令和3年「九都県市のきらりと光る産業技術」表彰企業の決定

九都県市首脳会議では、首都圏の優れた企業・団体等及びその産業技術を「九都県市のきらりと光る産業技術」の名称で、首都圏共通の財産として表彰し、紹介しています。

なお、九都県市首脳会議のWEB開催に伴い、共同での式典は開催いたしません。

(1) 表彰企業一覧

別添「令和3年『九都県市のきらりと光る産業技術』表彰企業一覧」のとおり

3 問合せ先

《第80回九都県市首脳会議について》

千葉県総合政策局総合政策部政策調整課 広域行政担当課長 山下

電話 043-245-5644

《令和3年「九都県市のきらりと光る産業技術」表彰について》

千葉県経済農政局経済部産業支援課 課長 小花

電話 043-245-5274

問い合わせ先 広域行政課 電話：042-769-8248

九都県市首脳会議のあらまし

1 構成員

埼玉県、千葉県、東京都及び神奈川県知事並びに横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市及び相模原市の市長

2 設立年月日

昭和54年7月26日（六都県市首脳会議として発足）
平成4年に千葉市長が加入し、七都県市首脳会議となる。
平成15年にさいたま市長が加入し、八都県市首脳会議となる。
平成22年に相模原市長が加入し、九都県市首脳会議となる。

3 会議の目的

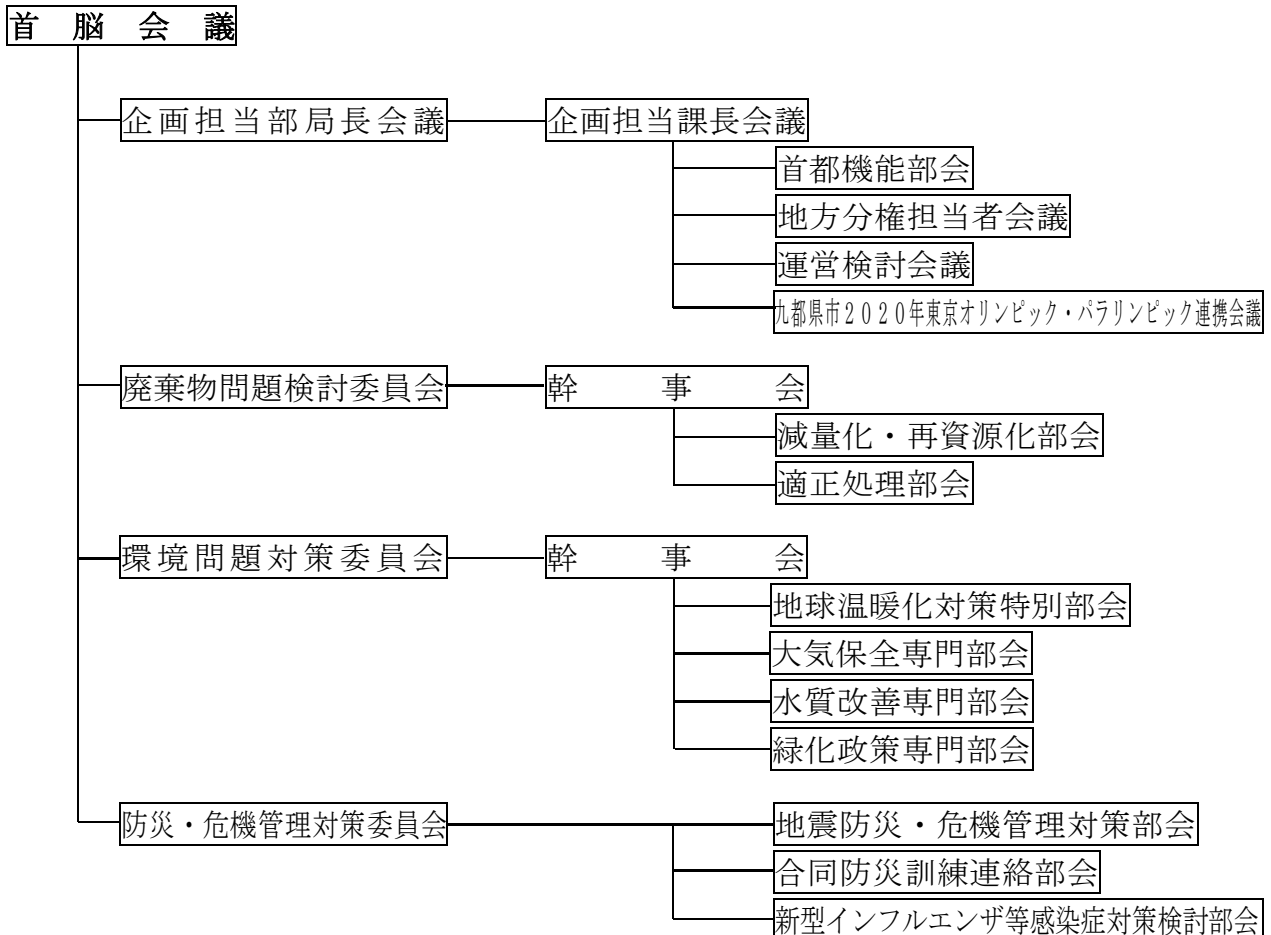
九都県市の知事及び市長が長期的展望のもとに、共有する膨大な地域活力を生かし、人間生活の総合的条件の向上を図るため共同して広域的課題に積極的に取り組むことを目的としています。

4 組織

首脳会議の下に、担当部局長で構成する委員会等を設置するとともに、その下に担当課長や実務担当者で構成する幹事会、部会等を設置し、首脳会議の運営や広域的課題に関する具体的な調査・検討・事業等を行っています。

また、首脳会議において協議し、集中して検討を行うことを決定した項目については、首都圏連合協議会で検討を行っています。

【九都県市首脳会議 組織図】



5 広域的な取組の必要性

首都圏は、全国人口の約3割を擁し、我が国の政治、経済、文化の中心をなすとともに、大都市圏として一つの地域社会を形成しています。しかし、この地域への人口の集中や諸機能の集積による都市化の進展により、個々の都県市の範囲を超えた広域的に対応すべき様々な課題が生じています。このため、広域化した諸課題の解決に向けて、九都県市が協調した取組を進めることが必要となっています。

6 期待される役割等

地方分権の進展や広域的課題の複雑化・多様化とともに、自治体間の連携・協調した取組のシステムとして、また自治体間の調整のシステムとして、九都県市首脳会議の役割はますます重要になってきています。

九都県市は、そのような役割を果たしつつ、今後とも首都圏における広域的な諸課題の解決に向けて、協調した取組を進めるとともに、まちづくり等において共同・連携した対応を図るなど、協調して広域行政を推進していきたいと考えています。

7 最近の首脳会議における活動の状況

平成29年（秋）

- ・地方分権改革の実現に向けた要求
- ・首都圏における更なる道路ネットワークの強化について要望
- ・乳児用液体ミルクに関する規定整備について要望
- ・企業の働き方改革に向けた支援策について要望
- ・駅ホームからの転落防止に向けた鉄道事業者への支援の検討について合意
- ・学校における働き方改革について要望
- ・鉄道の混雑緩和、快適化に向けた取組の検討について合意
- ・共同生活援助の報酬の引き上げについて要望
- ・リースの有効活用の推進について要望

平成30年（春）

- ・地方分権改革の実現に向けた要求
- ・受動喫煙防止対策の推進に向けた取組の検討について合意
- ・子ども医療費の助成制度の創設について要望
- ・定期借地制度を活用した国有地の有効活用について要望
- ・子どもの歩行中の交通事故の防止に向けた取組の検討について合意
- ・都市農業の振興に向けた取組の検討について合意
- ・高校生等への修学支援の更なる充実について要望
- ・介護人材の更なる確保に向けた取組の推進について要望
- ・中小企業等へのテレワークの導入促進について要請

平成30年（秋）

- ・地方分権改革の実現に向けた要求
- ・地域防犯力の向上に係る取組の検討について合意
- ・受動喫煙防止対策の推進について要望
- ・受動喫煙防止対策の推進に向けた取組の検討について合意
- ・首都圏における木材利用促進に向けた取組について合意
- ・東京2020大会期間中のTDM推進について要望
- ・有効な家具類転倒防止対策の研究について合意
- ・マイクロプラスチック問題の解決に向けた取組の検討について合意

- ・措置入院者等の退院後支援に係る法改正について要望
- ・外国人材の受入れ・共生に向けた環境整備について要望

平成 31 年（春）

- ・地方分権改革の実現に向けた要求
- ・児童虐待の防止に向けた共同宣言
- ・児童相談所等の体制強化について要望
- ・特別養護老人ホームの持続可能な運営と整備の促進について要望
- ・ホームレスとなるおそれのある人の自立支援に向けた取組の検討について合意
- ・A I 等新技術を活用した行政のスマート化の推進に係る取組の検討について合意
- ・地域共生社会の実現に向けた障害者の自立生活の支援拡充について要望
- ・麻しん（はしか）対策の推進についての要望
- ・発達障害児に関わる医師の確保及び環境整備について要望

令和元年（秋）

- ・地方分権改革の実現に向けた要求
- ・増加する法律での計画策定の努力義務等への対応の検討について合意
- ・児童虐待防止体制の充実について要望
- ・海洋プラスチックごみ対策の推進について要望
- ・エスカレーターでの事故防止に向けた取組の検討について合意
- ・重度障害者の在宅就労に対する支援について要望
- ・高齢者向け住まい・施設からの円滑な救急搬送等に向けた取組の検討について合意
- ・HPV（ヒトパピローマウイルス）ワクチンの定期接種について要望
- ・復興・創生期間後における福島への継続的な対応について要望

令和 2 年（春）

- ・地方分権改革の実現に向けた要求
- ・河川等における治水対策・減災対策の推進について要望
- ・感震ブレーカーの普及に向けた取組の検討について合意
- ・高速道路における本線料金所の撤廃などにつながる E T C の普及促進について要望
- ・令和元年に発生した台風による大規模土砂災害からの復旧等に対する支援の充実について要望
- ・認知症施策の推進にかかる成年後見制度等の利用促進に向けた取組の検討について合意
- ・学校体育館の空調設備の整備について要望
- ・保険者努力支援制度の評価方法の見直しについて要請
- ・医療的ケア児・者への切れ目ない支援の充実について提言

令和 2 年（秋）

- ・地方分権改革の実現に向けた要求
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と社会経済活動の両立に向けた共同宣言
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と社会経済活動の両立に向けた要望
- ・子どものための養育費を確保する制度の実現について（後日書面協議）

令和3年（春）

- ・地方分権改革の実現に向けた要求
- ・新型コロナウイルス感染症対策に関する要望
- ・大型連休に向けて感染防止対策の徹底を呼び掛けるための共同メッセージ
- ・電動車のさらなる普及に向けた環境整備の推進に向けた取組の検討について合意
- ・オフィスなどの相互利用に向けた取組の検討について合意
- ・風害対策及び大規模停電対策の充実強化について要望
- ・動物の不適正な多頭飼育の対策の推進について要望
- ・認知症対応型共同生活介護（グループホーム）等への居住費及び食費の負担軽減について要望
- ・文化芸術の持続可能性を高める支援について提言
- ・児童相談所等の更なる体制強化について要望
- ・地域材利用による森林の循環利用に向けた取組の検討について合意

8 事務局及び問い合わせ窓口

(1) 事務局（開催担当都県市）

会議の事務局は、1年単位（暦年）の持ち回りで各都県市が担当しています。

令和3年は、千葉市が事務局となっています。

（首脳会議の座長は、開催担当都県市の長が務めます。）

(2) 問い合わせ窓口

問い合わせ先	電話番号
埼玉県 企画財政部 企画総務課	048-830-2117
千葉県 総合企画部 政策企画課	043-223-2206
東京都 政策企画局 総務部 渉外課	03-5388-2151
神奈川県 政策局 自治振興部 広域連携課	045-210-5890
横浜市 政策局 大都市制度推進本部室 大都市制度・広域行政部 広域行政課	045-671-4082
川崎市 総務企画局 都市政策部 広域行政・地方分権担当	044-200-0057
千葉市 総合政策局 総合政策部 政策調整課	043-245-5047
さいたま市 都市戦略本部 都市経営戦略部	048-829-1064
相模原市 市長公室 総合政策部 広域行政課	042-769-8248

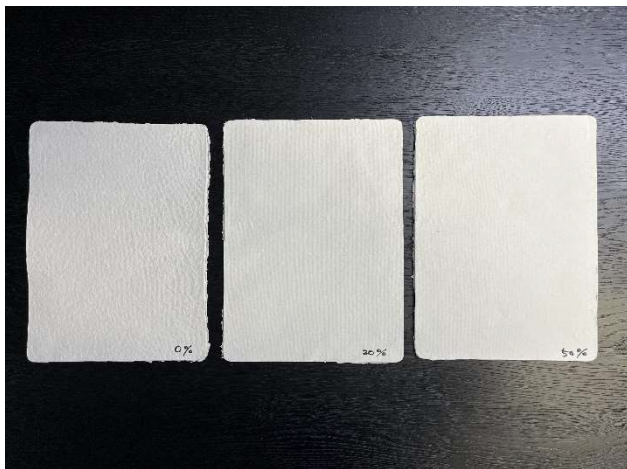
「令和3年 九都県市のきらりと光る産業技術」表彰企業一覧

	製品・技術の名称 企業名	製品・技術の概要
埼玉県	卵殻を使用したパルプ代替とCO2削減モデル 株式会社SAMURAI TRADING	産業廃棄物として処理される卵殻を独自の技術で乾燥、粉碎し、資源化された卵殻をパルプ代替として紙製品を製造する。
千葉県	シリンジ型全自動遠心分離機 「Separer ONE」 三井電気精機株式会社	遠心分離における回転中に、サンプルの注入及び取り出しが自由に行える、ディスプレイ(使い捨て)型全自動遠心分離機である。
東京都	AIリアルタイム声質変換システム 「Voidol-Powered by リアチェンvoice-」 クリムゾンテクノロジー株式会社	誰の声でもリアルタイムでキャラクターの声にAI変換する。
神奈川県	ギヤインモータ コアレスモータ株式会社	独自に新開発したギヤユニットの完全内蔵化により、これまで販売されている従来技術・製品では対応できなかった小型化が可能となった。
横浜市	・非接触で同時に複数人の心拍・呼吸計測が可能なセンサー「Vital Radar Sensor®」 ・障害物検出等に適した3Dレーダープラットフォーム「miRadar®128」 サクラテック株式会社	・ Vital Radar Sensor®: 独自開発の「miRadar®8」※を応用し、衣服等を通して、非接触で同時に複数人の心拍・呼吸を計測することができるセンサー。介護施設での見守り等での用途を想定。 ※検出範囲が広く、しかもより正確に位置が分かるMIMOレーダー技術を使用した小型・高性能モジュール(レーダープラットフォーム)。 ・ miRadar®128: MIMOレーダー技術を使用し、3次元計測ができるモジュール(3Dレーダープラットフォーム)。建設車両や農業機器等に取り付けて障害物を検出する等の用途を想定。
川崎市	SONOFILE「超音波カッター シリーズ」 株式会社ソノテック	多様な素材を煙やゴミの排出なく切断できる世界的なトップシェアを誇る超音波カッター。刃物を1秒間に2万~4万回振動させることで、通常の刃物では切断しにくい樹脂製品や複合材料などの切断を容易にする。ツールをロボットハンドに装着することで3次元加工やエア冷却を使用することで24時間稼働も可能。初期費用やランニングコストが安価でメンテナンス性に優れる。
千葉市	自動洗浄再生機能を有するばね式フィルター 「モノMAXフィルター」 株式会社モノベンジニアリング	目詰まりするとばねの作用で自動的に逆洗浄して再生される。新開発のグラフト重合パウダーの活用で希薄なイオン化金属やレアメタル、希土類を取りこぼしなく高速に捕集する。グラフト重合パウダーの再生と回収金属の原料化も容易。
さいたま市	自社開発液によるめっき、アルマイト及び電着塗装等を用いた表面処理技術 日本電鍍工業株式会社	60年来の時計外装部品等の貴金属厚付金めっきの技術に、アルマイトや電着塗装技術を融合させ、社内一貫での表面処理加工に対応する生産体制を構築している。 機械に頼らない職人の手作業による、医療器具や管楽器などの1点ものや小ロットの量産まで多岐にわたって取り扱う多品種変量生産を得意とし、総合的な表面処理のプロデュースにも応える。
相模原市	スマート型点滴管理ツール「DR-MARK」 株式会社マーク電子	点滴の流量を管理する装置。 自動車の衝突防止システムなどに採用されている「マイクロ波ドップラーレーダー」を応用した独自の特許技術により、本体が動いても液量の変化に敏感に対応することができ、誤差が少ない計測を可能とする。 複数人の滴下状況をスマートフォンやパソコンから遠隔で確認することができる。

「卵殻を使用したパルプ代替とCO2削減モデル」

株式会社 SAMURAI TRADING

- ◇ 産業廃棄物として処理される卵殻を独自の技術で乾燥、粉砕し、資源化された卵殻を10%～50%パルプ代替として紙製品を製造する
- ◇ パルプや古紙の使用量を大幅に削減可能であり、コンポストにも対応した環境に優しい紙製品
- ◇ 本取組みにより、CO2削減、ゼロエミッションの実現、持続可能な消費と生産の実現を目指すなど「SDGs」へ積極的に対応する



卵殻パウダー10%～50%含有のパルプモールド



卵殻10%～50%含有の名刺用紙

代表者	代表取締役 櫻井 裕也		
所在地	埼玉県桶川市若宮2-32-5ヤマトビル1F		
電話	048-789-0808	FAX	048-789-0202
URL	https://www.samurai.vip/		

遠心分離中の試料の注入・抽出が可能な シリンジ型全自動遠心分離機 『Separator ONE』

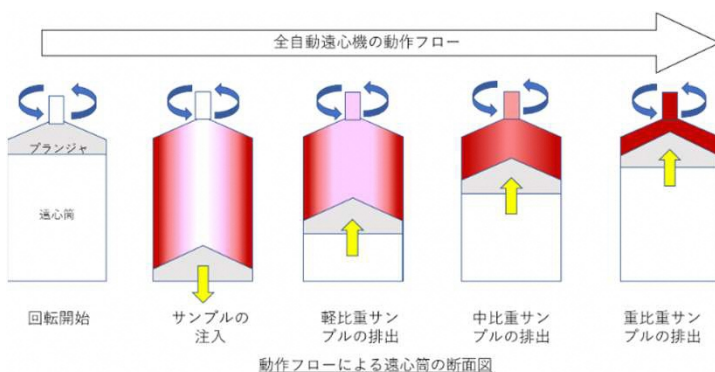


三井電気精機株式会社

開発経緯

- 2010年沖縄県において先端医療産業化研究開発事業に参加し、山口大学で行われている肝臓修復治療（ABMi療法）を沖縄県の民間病院で実施する為、感染対策に対応した乾熱滅菌が可能な遠心分離機の開発を行った。
- 事業完了後に事業参加者よりディスポ型（使い捨て）の遠心分離機のニーズがあったが当時は開発まで至らなかった。
- 2016年に医療機器ニーズ発表会にて同様のニーズ発表があり、千葉県中小企業・小規模企業連携支援事業にて研究開発を実施、本製品『Separator ONE』を開発した。

動作原理



特徴

- 遠心分離中に試料の抽出が可能
- 遠心分離中に別試料の注入が可能
- ディスポ型シリンジ遠心管により使い捨てが可能となり感染リスクがない
- 閉鎖状態での遠心分離が可能
- チャンバー内を過酸化水素水等で除染可能

用途

- 細胞分離、濃縮
- 液体の遠心分離、濃縮、反応、脱泡
- 連続遠心分離処理



令和2年度 千葉ものづくり認定製品 第167号に認定
令和元年日本機械学会 関東支部技術賞 受賞

東京都

AIリアルタイム声質変換アプリ

Voidol - Powered by リアチェンvoice -

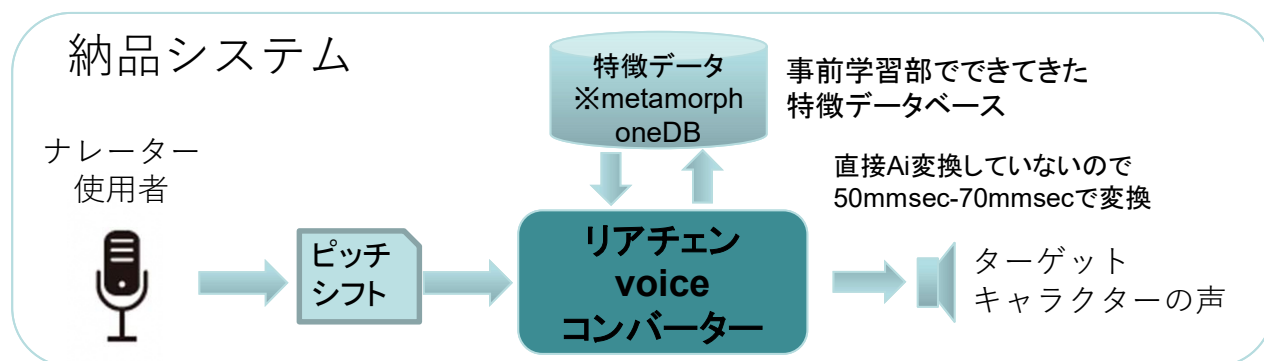
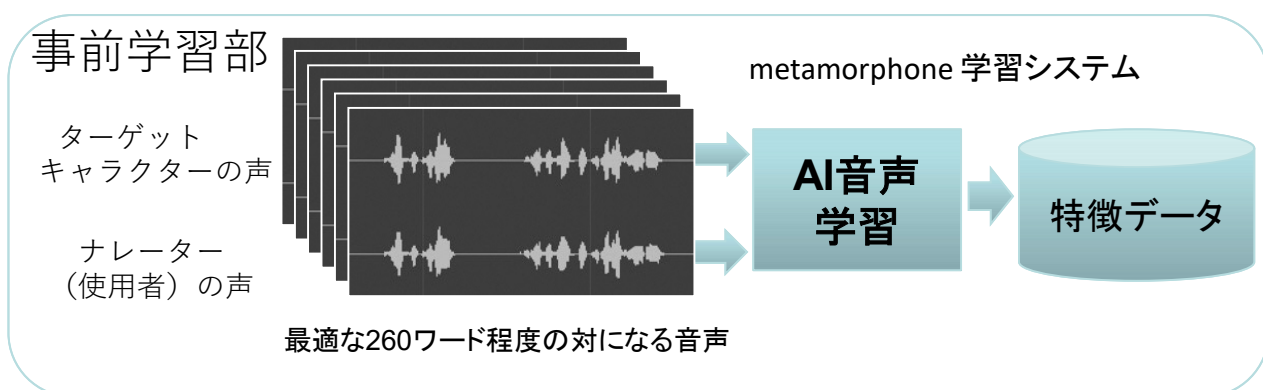
【クリームゾンテクノロジー株式会社】

【製品の概要】

- ・ユーザーの声をキャラクターやロボットの声にリアルタイムで変換。

【特徴・効果】

- ・ポストコロナ時代に最適な遠隔接客を実現
- ・CGやロボットと組み合わせ、地方に住んでいても、体が不自由でも様々な場所で人材が活躍できる。
- ・イベントなどでのキャラクターによる接客も可能



【導入実績】

屋内・冒険の島ドコドコ（子供向けARパーク）
NHK総合 特別番組 ドラえもん50周年

2020年 世界発信コンペティション(製品・技術(ベンチャー技術)部門) 大賞受賞

神奈川県

ギヤードモータの大幅な小型化に成功! ギヤインモータ

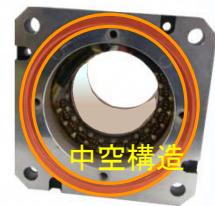
【コアレスモータ株式会社】

【製品の概要】

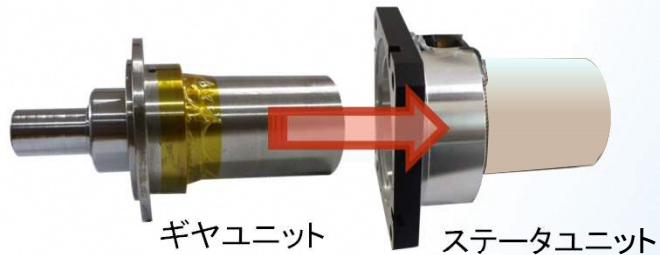
独自開発のモータコイルは中空構造になっており、そのスペースに収まるギヤユニットを装着することにより、従来のギヤードモータを大幅に小型化することができる。



【従来】鉄心モータ内部



【当社】モータ内部



ギヤユニット

ステータユニット

【製品の特長】

- 圧倒的な小型化
- 静粛性の向上
- インホイールモータも可能



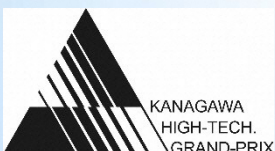
電動車椅子用インホイールモータ

【従来】



【当社】

特許取得済み(日本)、特許出願中(米国、中国、韓国)



第36回 神奈川県工業技術開発大賞受賞

- ・非接触で心拍・呼吸計測が可能なセンサー「Vital Radar Sensor®」
- ・障害物検出等に適した3Dレーダープラットフォーム「miRadar®128」

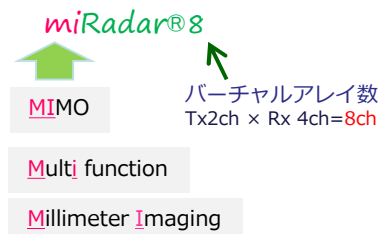
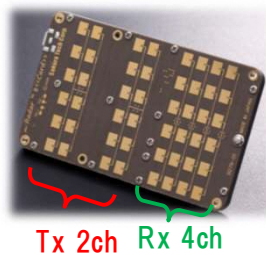
➤ Vital Radar Sensor®

独自開発の miRadar®8 ※ を応用したもので、衣服や毛布を通して、非接触で同時に複数人の心拍・呼吸を計測することができます。介護施設での見守り等での用途を想定しています。



※ miRadar®8

検出範囲が広く、しかもより正確に位置が分かるMIMOレーダー技術を使用した小型・高性能モジュール（レーダープラットフォーム）です。



世界8か国で商標登録取得

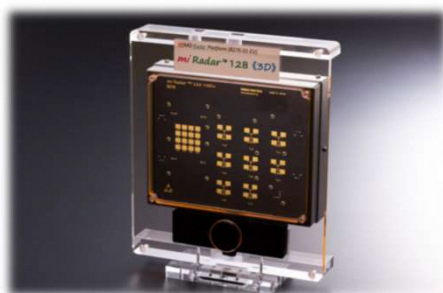
特徴

- 24 GHz MIMOレーダーセンサー
- Tx 2ch, Rx 4chの仮想8ch
- 名刺サイズの小型軽量タイプ
- 距離センサーとバイタルセンサーは、ソフトウェアで対応可能
- マイクロUSBインタフェース

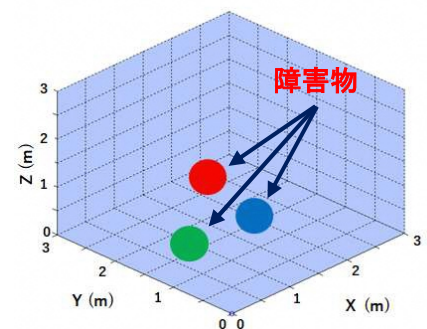
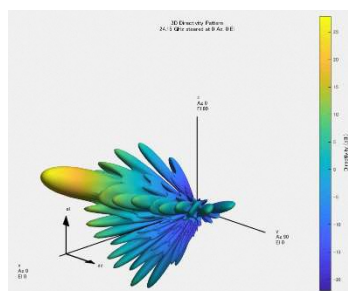
➤ miRadar®128

MIMOレーダー技術を使用し、3次元計測ができるモジュール（3Dレーダープラットフォーム）です。建設車両や農業機器等に取り付けて障害物を検出する等の用途を想定しています。

Az: -20° ,El: 20°



miRadar®128 <<3D>>



川崎市

SONOFILE「超音波カッター シリーズ」 【株式会社ソノテック】

【製品の概要】



多様な素材を容易に切断できる、環境に配慮した
世界的なトップシェアを誇る超音波カッター



超音波振動子

安定した駆動電圧



切断時の負荷による
周波数や振幅の乱れ情報を
フィードバック

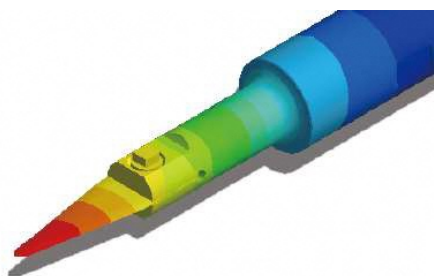


超音波発振器

SONOFILE「超音波カッター シリーズ」の原理

【特徴】

- ・切断の難しい樹脂やゴム・不織布などを容易に切断
- ・初期費用、運用費用が安価でメンテナンス性に優れる
- ・ウォータージェット、レーザー加工機に比べて、切り粉、汚水、騒音、煙をほぼ排出せず、環境面に配慮



超音波カッターの解析



自動機による切断の様子

【導入事例】

- ・国内外自動車メーカー、航空機製造メーカー、研究・開発機関など幅広い業種への納入実績
- ・国内1,000社以上、海外では200社以上（30カ国以上）に販売



第17回川崎ものづくりブランド認定製品
経済産業省「2020年版グローバルニッチトップ企業100選」に選定

千葉市

自動洗浄再生機能を有するばね式フィルター



『モノMAXフィルター』

各種のイオン化金属も捕集出来るオンリーワン技術

【株式会社モノベエンジニアリング】

目詰まりするとばねの作用で

自動的に
逆洗浄して再生

フィルターの洗浄が行えるため、

フィルターの
交換不要

メンテナンスも極少のため、

運用コストも低減

重金属や放射能を含む有害物質のろ過

水に溶け込んだ物質のろ過も可能

最新ろ過技術

モノMAXパウダーの特長

- ①放射線グラフト重合パウダーとばね式フィルターろ過技術の融合（特許669942号）で各種別をイオン化金属を吸着捕集
- ②グラフトパウダーとばね式ろ過技術の併用で通液量がイオン交換樹脂（カラム方式）の約100倍、希薄なイオン化金属も完全吸着捕集
- ③ホウ素、フッ素、ヒ素、塩素、各種のレアメタルや希土類、貴金属、有毒金属の捕集パウダーの製作可能
- ④パウダーの再生利用及び捕集金属の回収が容易

モノMAXフィルター

モノMAXフィルター 導入実績



トンネル工事濁水



海水



井水専用水道



微細プラスチック
洗浄水



研磨クーラント液

受賞歴

- ・2002年：第1回『ベンチャー・カップCHIBA』グランプリ【（公財）千葉市産業振興財団】
- ・2009年：日本機械学会関東支部技術賞【（一社）日本機械学会】
- 同 年：日本を支える中小企業300社【経済産業大臣】
- ・2013年：第18回千葉元気印企業大賞 千葉県知事賞【千葉県知事】
- 同 年：第38回発明大賞 日本発明振興協会会長賞【（公財）日本発明振興協会】
- 同 年：科学技術賞 技術部門【文部科学大臣】
- ・2014年：全国発明表彰 日本商工会議所会頭発明賞【日本商工会議所】
- ・2015年：第27回中小企業優秀新技術・新製品賞 優秀賞、環境貢献特別賞
- 【（公財）りそな中小企業振興財団】
- 同 年：第6回ものづくり日本大賞 経済産業大臣特別賞【経済産業大臣】
- 同 年：黄綬褒章（科学技術関係）文部科学省推薦【内閣総理大臣】

自社開発液によるめっき、アルマイト及び電着塗装等を用いた表面処理技術



日本電鍍工業株式会社

技術の特徴

【めっき液の自社開発】

常時使用可能なめっき液は、自社開発液を中心に約50種類に及び、多彩な色調や細かな品質要求にも応える表面処理を実現。

【厚付けめっき】

「密着不良」、「クラック」等のリスクを克服し、100 μm まで厚付けめっきが可能。『機能』と『美観』を兼ね備えた高品質な表面処理技術が息づく。

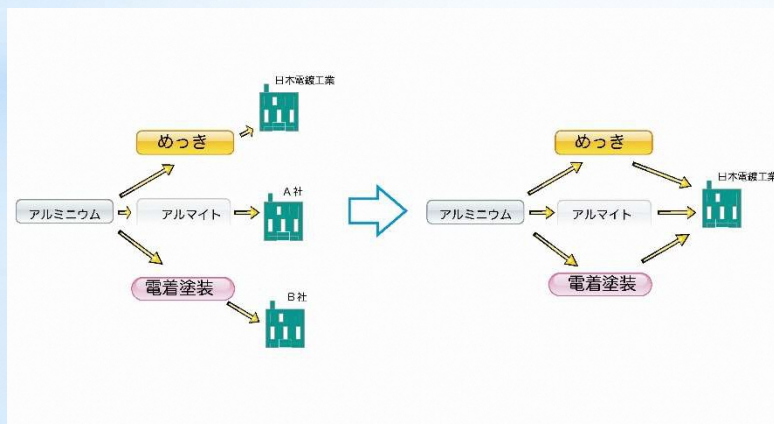
【多品種変量生産】

機械に頼らない職人の手作業と生産管理システムにより、医療器具や音楽器などの取扱いの難しい一点ものや少ロットの量産にも対応。



社内一貫生産体制への対応

2020年にアルマイト・電着塗装ラインを新設し、60年の貴金属めっきの技術と2つの新技術の融合により、顧客のニーズに合わせた総合的な表面処理プロデュースを提供。



相模原市

看護の現場を変える次世代型の点滴管理

『スマート型点滴管理ツール DR-MARK』



点滴流量を管理する新しいかたち

看護の現場を変える
次世代型の点滴管理

スマート型点滴管理ツール
DR-MARK

医薬品注入器検査装置 / 一般医療機器
届出番号：14B2X10036000001



点滴筒にセットするだけ
面倒な計算は必要ありません。
滴下異常・滴下終了をスマホにお知らせ。

クリップ式の本体で点滴筒を挟むだけで流量を計測。面倒な計算は必要ありません。滴下が指定した量からはずれた場合や、滴下終了をスマホ・パソコンにお知らせしますので、離れていても安心です。



独自の特許技術により
動いていても計測可能。

動きに強い「マイクロ波ドップラーレーダー」を応用した独自の特許技術により、本体が動いても正確に測定。流量の変化に敏感に対応して、誤差が少ない計測が可能です。

複数人のさまざまな点滴情報を
パソコンで一括監視。

複数のDR-MARKからの点滴情報（瞬時流量、積算流量、予定終了時間）をワイヤレスでパソコンに集約。ナースセンター等で一括監視できます。



第33回中小企業優秀新技術・新製品賞（令和3年度）
（りそな中小企業振興財団、日刊工業新聞社 主催）